

当日のモデルプログラム

初日

職場の人との関係性をつくる & 仕事の全体像を捉える

9:00

オリエンテーション

- お互いの自己紹介…分からないことを聞いたり、何かあったら気軽に相談したりしてもよいことも伝え、リラックスした雰囲気をつくります。
- スケジュール確認…体験全体の見通しがもてるように流れを説明します。

9:30

事業所の概要説明

事業所の歴史や理念、佐渡や業界における役割について理解を促します。

10:00

事業所内の見学

見学をしながら、仕事の全体像を伝えます。
誰のために、どんな方法でサービスを提供したり、ものをつくらしているのか?など、それぞれの仕事の位置付けや意義についても触れてください。

12:00

昼食

- なるべく他の職員らと同じタイミング・場所で昼食を食べます。
- 緊張をほぐしながら、お互いにコミュニケーションをとります。

13:00

しごとの基本作業①

その仕事を知る上で基本となる作業を体験します。
なぜ基本なのかなど、作業の目的や他の作業との関連についても伝えます。

15:00

ミッションの再確認

ミッションの解決に向けて、2日目で必要となる情報収集のポイントを整理します。

16:00

ふりかえり

1日目を終えてみて、生徒に感じたこと・驚いたこと・気づいたことなどを中心に聞きます。取り組む態度や姿勢に対して、率直に感じたよかったことなどをフィードバックします。

今日のCHECK!

- 中学生と職場の関係性づくりに取り組めた
- 仕事の全体像とミッション解決に必要な基本情報を伝えられた

2日目

学校によって実施日数は異なります

仕事にチャレンジ & ミッション解決に向けた情報収集

9:00

オリエンテーション

今日の仕事の流れや目的を確認します。生徒の体調や心持ちにも配慮します。可能ならば、朝礼や朝の業務にも参加します。

9:30

しごとの基本作業②

1日目の発展となる作業や、難しさも実感できる体験をします。
失敗したり、分からないことがあっても、自分で改善策を見出せるようサポートします。

例 とある高齢者介護施設での体験

Mission【ミッション】

利用者の〇〇さんに楽しんでもらえる、体操メニューを考える

*緊張していたけど、優しく迎え入れてもらってホッとしたのよーし、頑張るぞ!

*なるほど、知らなかったなあ

★ポイント:「お年寄りの方に、どんな言葉かけをしていると思う?」など、生徒に考えさせる質問をするのもよい

*ふむふむ。たくさんメモを取るぞ!

*色々な人が関わること、仕事って成り立っているんだな

*こんな方たちがここで働いているんだのよし、名前と顔を覚えて!

【介護施設の場合】
「お年寄りの方と一緒に、タオルたたみ」「〇〇さんの好きなものヒアリング」

*お年寄りの方は、普段どんなことに困っているんだろう?

体操メニューをつくるために、もっと知りたいことについて意見を出す

*新しい発見ばかりだったな〜。ミッションをより意識して、明日も頑張るぞー!

少し慣れてきて、利用者さんに挨拶ができた!

【介護施設の場合】
「機能訓練(リハビリ、体操)に参加し、利用者さんのフォローをする」

*どうしてリハビリって必要なんだろう?

*効果的なりハビリの動きって何だろう?

*認知症はどうやって予防できるんだろう?

13:00

ミッション解決に向けた情報収集

事業所の職員や、お客さん(利用者さん)へのインタビュー等を通し、自分たちに必要な情報を集めます。

15:00

情報の整理

情報収集により見えてきたこと、気付いたことを整理します。
もう一步必要な視点をヒントとして伝えるなどのフォローをします。

16:00

ふりかえり

新たに気づいたこと、自分の中での学びなどを中心に聞きます。
最終日のチャレンジに向けての期待やメッセージを伝えます。

今日のCHECK!

- ミッション解決に必要な情報を、多様な角度から収集できるようフォローできた



*いつもどんなことに気づいて体操メニューを作成しているんですか。

*利用者さんの表情や言葉をもっと注意深く見ないと。介護士さんのヒントのおかげで、やることが見えてきたぞ!



*ミッションへの理解が深まったぞ。なんだか良いアイデアが浮かびそう!明日に向けて家で考えてみよう。

最終日

ミッション解決に向けたアイデア出し & ブラッシュアップ

9:00

オリエンテーション

今日の仕事の流れや目的を確認します。これまでの情報収集の内容を職員にも共有し、どんな視点や体験が必要かアドバイスをもらいます。

9:30

しごとの基本作業③

今まで体験した作業、やや難しい作業を体験します。
体験したことのある作業の場合は、作業効率が上がったか、作業への姿勢が変わったか、ミッションに関する考察はされているか、などに注目します。
やや難しい仕事では、困難なことでもチャレンジしてみることの大切さ、学んだり工夫したりすればできるようになることなど、意義を伝えます。

11:00

ミッション解決に向けたアイデア出し

これまでの体験や情報収集をふりかえり、ミッション解決に向けたアイデア出しを行います。
暫定的に、提案(プラン)をつくらせるところまで、取り組みます。

13:00

ミッション解決の提案(プラン)の実施

作成した提案(プラン)に実際にトライしてみます。

15:00

提案(プラン)についてのフィードバック

生徒の提案に対して、良いところやもう少し考えを深めてほしい点をフィードバックします。
実際に提案(プラン)を試してみて、足りない部分や改善が必要な点を生徒自身に気付かせます。

16:00

ふりかえり

職場体験を終えてみて、全体の学びや自分の中での変化などを中心に聞きます。
提案についての評価と、さらに考えを深めてほしい点(発展課題:P9参照)を伝えます。
ミッション解決に向けた応援メッセージ、今後の人生や進路に向けた言葉を送ります。

今日のCHECK!

- 実際にアイデアを実践し、ブラッシュアップの視点を与えられた
- 3日間を振り返っての学びを共有できた



*今日のお散歩タイムに同行して良いと言ってもらえた!利用者さんにたくさん話しかけるぞ!

*お散歩タイム中に、勇気を出して沢山の利用者さんとお話してみても、どんな時に嬉しい気持ちになるか、困っていることは何か、教えてもらったぞ!利用者さんのためになる体操メニューをつくりたい!

*こんな体操メニューだと、喜んでもらえるんじゃないかな!



*私たちが考えた体操メニューで、身体を動かしてくれている。感激!

*実際にこの体操メニューを試してもらったら、喜んでもらったけど、足の不自由な利用者さんは大変そうだったの。もっと工夫してみよう。

*もう終わっちゃったのかーさみしいな。ここでの3日間の経験を基に、ミッション発表会に向けてもう少し考えてみたい!